

「街の昔」を
感じるとき

2012秋

香椎《まちの記憶》博物館 実施

香 椎 の 街 を 博 物 館 に ！

2012年度卒業研究 香椎《まちの記憶》博物館

現在の香椎は、香椎副都心土地区画整備事業により、新しいものが作り出される一方で、古いものが取り壊されて、住み慣れたまちの記憶が薄れてきている。この卒業研究では、まちの記憶を発掘して復活させ、記録として提示し後世に残すことを目的に、私たちは、空地に設置するパビリオンを拠点とした、香椎《まちの記憶》博物館を、まち全体を使い実施する。パビリオンは、今秋10月から施工する予定である。

九州産業大学諫見研究室は、市民参画型のまちづくり実践と、ものづくり教育用の教材開発を主な研究テーマに、学生が考えたこと、作ったものが、世の中の役に立つ。それを学生自身が実感できる、産学一如の研究活動を展開しています。

諫見研究室公式サイト

www.isami.info